

みどりの杜俳句会

雛壇の紅白餅を愛でにけり

佐山けさ子

ほうれん草肥料の効きて黒ばめり

梅沢きくえ

明るさに見ひらく様や雛の目

木本 弘子

桃の花花びんに挿して散り初む

鈴木 啓子

リハビリの友と味はひ桜餅

高橋 ツ子

二段目の三人官女ちようし持つ

西 つる

コロナ落ちつき早春の家族会

吉田 愛子

土手向かう梅の一樹のまだまばら

飯野はつ志

雛壇の裾に飾りて藤娘

山崎 才子

節分の鬼にお手玉投げ退治

田村 好子

庭日射し三色揃ふクロッカス

関口 侑子

熊注意の看板倒れ春一番

野口利江子

雛の壇りハビリホール華やげり

小林 和幸

久々の雨音に覚め春近し

小林 一樹

灯点りて試歩を見守る内裏雛

谷内 真里

一つ一つ墓碑に手合はす彼岸かな

岩崎 真人

雛の真白き顔に驚く夜勤かな

大竹 祐也

節分草日の射す方に開きけり

初雁 功子

しぶき上げ鳴き合ひ川の小白鳥

土屋 厚子

車椅子寄するやこぼれ桃の花

山田 美子



人権シリーズ

391

『人権について思うこと』

この原稿を依頼されて改めて人権について考えてみました。

学校で勉強した、フランス革命後の「フランス人権宣言」。日本国憲法に明文化された基本的人権の尊重等、歴史上の知識としてしか捉えていませんでした。

しかし、ウィズコロナも3年目。この間、人権に配慮すべきさまざまな問題が起きています。

感染初期の頃は医療従事者への差別や偏見が盛んに報道されていました。

一例では、看護師さんが子どもを公園で遊ばせていたら、他の人から、「コロナがうつるから公園へ来ないで。」と言われた等です。

感染する危険も顧みず一生懸命に働いている人達に、なぜこんなに酷いことを言えるのか不思議です。

きつと、この人たちもコロナを恐れるあまり、他の人への思いが至らず言ってしまったのだと思います。

私たちはコロナを闇雲に恐れるのではなく、正しく恐れるべきです。恐れるべきはコロナであって、人ではありません。

最近の問題としては、感染者に対する偏見があると思います。

感染した家庭が孤立していないか心配しています。

いつ、誰が感染してもおかしくない世の中。私は、我が家に感染者が出たら買い物等を頼みたいと、何人かの友人にお願いしています。反対に、友人の家に感染者が出たら全力で協力するつもりでいます。

困った時は気軽に助けを求められる社会でありたいです。

東秩父村民生委員・児童委員協議会 関口 敬子

東秩父村教育委員会開催のお知らせ

日 時 5月24日(火) 午後1時30分～

場 所 役場2階新会議室

問合せ 教育委員会事務局 ☎82-1230

